

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成27年8月10日

【事業所概要(事業所記入)】

| | |
|---------|---|
| 事業所番号 | 4670300765 |
| 法人名 | 有限会社 三井・メディックス |
| 事業所名 | グループホーム 上祓川 |
| 所在地 | 鹿児島県鹿屋市上祓川町8469番地1 (電話) 0994-40-5130 |
| 自己評価作成日 | 平成27年6月29日 |

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

| | |
|-------------|---|
| 基本情報リンク先URL | http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/Top.do?PCD=46 |
|-------------|---|

【評価機関概要(評価機関記入)】

| | |
|-------|------------------------------|
| 評価機関名 | NPO法人自立支援センターかごしま 福祉サービス評価機構 |
| 所在地 | 鹿児島県鹿児島市星ヶ峯四丁目2番6号 |
| 訪問調査日 | 平成27年7月28日 |

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

・開設して11年が過ぎ、開設当初入所されていた利用者様も高齢になり、身体的なレベルの低下や疾病の悪化などに伴い日常生活において介助量が多くなってきました。当初より「住み慣れた地域の中で 笑顔で満足諦めない」を理念に掲げ、年齢を重ね出来なくなる事が増える中、少しでも自分で出来る可能性を見極め、工夫を行い、ゆっくりと待つなどの対応を職員は意識しながらケアに取り組んでいます。

・日常的にホーム周辺の散歩や有人販売所まで買い物に出かけるなど地域との繋がりを大切にし、また、これまで利用者様が生活してきた場所や人との関係が途切れることなく継続できるようにしています。

・排泄支援については、昼間はオムツや尿取りパットなどできるだけ使用せず、時間誘導を行ったり個々の排泄パターンを把握しながらトイレでの排泄を主として過ごせるようにしています。また、オムツなどが必要な場合でも、本人の身体や排泄状況を踏まえて、適した種類等を検討するなど、個別に合った物の選定を行い対応しています。

・毎日の生活の中で入浴は楽しみにされている方も多く、高齢となり浴槽をまたぐ動作など不安定になり本人も負担が大きい為、リフトを設置し使用することで、安心して快適に入浴することができるようになっています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

・当事業所は周囲に一般住宅や郵便局・駐在所・小学校・有人販売所・市のふれあいセンターなどがあり、散歩や買い物の際には挨拶や会話をして、多くの人とのふれあいがある。

・町内会に加入し、有線放送で情報を得たり、多くの地域行事にも参加し、事業所行事のクリスマス会など民生委員や地域住民・家族が参加している。ボランティアの受け入れなども行っている。

・職員は「あきらめない」という理念に沿って、利用者個々人の習慣や楽しみを把握したうえで、無理強いせずに、ぬり絵や計算ドリル・日記・新聞購読など、個々の力量に応じて、その人らしい生活ができるように支援している。

・入浴は、最新のリフトが導入され、利用者も安全で安心して気軽に入れるようにしている。風呂好きな利用者が殆どで毎日入浴をしている。

・災害対策として定期的に避難訓練を実施し、運営推進委員も緊急連絡網に登録するなど協力体制ができている。救急隊への「情報提供カード」も特定場所に保管している。

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|--------------------|------|---|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| I. 理念に基づく運営 | | | | | |
| 1 | 1 | ○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている | 「住み慣れた地域の中で、笑顔で満足あきらめない」の理念を共有し、職員全員で意識しながら日々介護を実践している。 | 地域との関連性を踏まえ、職員全員で話し合った独自の理念を作成し、ホールに掲示しパンフレットにも掲載している。学習会や毎月の職員会議で理念を掘り下げて話し合い、具体的なケアについて意見の統一を図っている。 | |
| 2 | 2 | ○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している | 町内会に加入し、地域行事に参加したり、近くの有人販売所に出かけるなど、日頃より交流を図っている。また、ホームの避難訓練などでは地域の消防団の協力を得ながら実施している。 | 町内会に加入し、文化祭などの地域行事に参加し、近くの有人販売所で買い物やお茶飲みをしている。事業所行事の敬老会やクリスマス会などにも民生委員や地域の住民の参加もあり、ボランティアの受け入れなども行っている。 | |
| 3 | | ○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている。 | 運営推進会議の際に、認知症についての理解や支援方法など、事業所の取り組みなど伝える機会を設けている。また、入居の相談に来られるご家族等に対しても相談などに応じている。 | / | / |
| 4 | 3 | ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている | 2ヶ月に1回運営推進会議を開催し、ホームの取り組みや行事、活動状況などを報告している。避難訓練や事故発生時などの対応等では、助言を頂き対策など検討することも多くある。 | 会議は定期的に行っている。ホームの現状や課題・外部評価の報告などを行い、意見交換を行っている。助言で与薬手順のルールや避難訓練などの具体的な意見を受け、改善に繋がっている。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 5 | 4 | ○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる。 | 市の担当者よりメールで連絡があり、研修会などにも参加している。また、事業所内で判断難しい事は、随時連絡相談を行っている。運営推進会議にも参加して頂き、事業所の取り組みや課題について報告し協力を得られるように努めている。 | 市担当者とは日頃から連携を取り、事業所の実情や困難事例の情報を交換してアドバイスを貰っている。メールでやりとりもしている。市主催の研修会にも積極的に参加している。生活保護の担当者とも密に連絡合っている。 | |
| 6 | 5 | ○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる。 | 毎月のミーティングの中で、身体拘束について自分達の日頃の言動やケアにおいて振り返る機会を作っている。外部研修の参加や法人内での学習会でもテーマとして毎年取り上げ、身体拘束を行わないケアや弊害についても学ぶ機会を作っている | 身体拘束委員会を設置し、定期的な勉強会を実施している。事例検討などで職員の共通認識を図り、拘束をしないケアを実践している。言葉による拘束についても日々確認し配慮している。昼間は玄関の施錠はせずに職員間の連携で安全な暮らしを支援している。緊急やむを得ない場合は家族に説明し同意書もらう方向である。 | |
| 7 | | ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている | 外部研修や学習会などで、高齢者虐待防止について学ぶ機会を持ち、理解を深め、不適切な対応やケアにならないように話し合いなどを行っている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 8 | | ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している。 | 後見人制度や権利擁護については地域包括支援センターが主催する研修があり、参加するようにしている。法人内の学習会でもテーマとして取り上げ学ぶ機会を作っていく。 | | |
| 9 | | ○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている。 | 入居の際は、契約書、重要事項などの説明を行い疑問に思うことなど確認するようにしている。料金の改定の際は、ご家族に内容を説明させて頂き同意を得ている。 | | |
| 10 | 6 | ○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている。 | 玄関に意見箱を設置している。御家族の面会時には、日常生活の状況や様子を報告し、利用者の方からの意見や御家族からの要望などないか伺うようにしている。意見や要望があった際には、早めに職員に周知し、話し合いを行い対応できるように努めている。 | 気軽に話し合える雰囲気作りに留意している。利用者からは日々の関わりの中で、家族からは面会や行事参加時などの機会に、意見を出してもらおう工夫をしている。月1回は「上祓川だより」を送付している。出された要望により、法事や墓参に送迎の支援なども行っている。意見箱も設置している。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 11 | 7 | ○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている。 | 毎月のミーティングの中で、職員の意見など聞く機会を設けている。また、同様に管理職ミーティングも毎月行い、事業所内での意見や要望等を代表者へ報告したり意見交換する機会がある。 | 管理者は日頃から職員とのコミュニケーションを図り、申し送りやミーティング時に職員の気づきや意見・提案を聞く機会を設けている。毎月、管理職ミーティングも行い反映を図るよう心がけている。相談事は個別に聞き適切にアドバイスをしている。 | |
| 12 | | ○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている。 | 介護職員がゆとりを持って利用者様のケアに当たれるように、調理員の雇用を行っている。また、職員の持つ資格に応じて資格手当もあり、やりがいや向上心に繋がっている、 | | |
| 13 | | ○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている | 大隅地区介護事業所連絡協議会主催の研修など、職員交代で参加できるようにしている。また、毎月の学習会でもテーマを決めて、グループワークを通して、知識や技術の向上に取り組んでいる。 | | |
| 14 | | ○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている | 大隅地区介護事業所連絡協議会などの外部研修や市の研修などで他事業所との意見交換や交流を行う機会がある。同法人内の他施設と合同で行う学習会などでも、それぞれの事業所の悩みや取り組み等意見交換の場となっている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------|------|---|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援 | | | | | |
| 15 | | ○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている | 入所時は、可能であれば事前にご本人やご家族に見学に来て頂いたり、関係者から情報を得るなど、できる限り本人が安心して入居できるように努めている。 | | |
| 16 | | ○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている | 入所の相談があった際に、ご家族の困りごとや要望などを、ゆっくり聞くようにして、信頼関係を築けるようにしている。 | | |
| 17 | | ○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている | ご家族やケアマネジャーより相談を受けた際は、利用者様や御家族の状況を確認し、他サービスを含めて、利用者様に必要なサービスを検討している。 | | |
| 18 | | ○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている | 同じ時間を一緒に過ごす中で、家族同様に受け止め、家事などお互いできる部分を一緒に実施するなど役割を持てるようにしている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 19 | | ○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている | 毎月写真入りのお便りを作成し、遠方のご家族にも利用者様の様子が把握できるようにしている。電話や面会時にも、利用者様の近況やご家族に協力して欲しい事等をお伝えしており、衣替えや外出など家族にて支援して頂いている場面もある。 | | |
| 20 | 8 | ○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている | 利用者様の行きつけの美容室や商店、また自宅周辺などのドライブなどを行い、入所前の生活の場や馴染みの人との関係性を大切に維持できるように努めている。 | 親戚の訪問や電話の取次ぎ、地域行事の見学など継続的關係が途切れないよう働きかけている。ドライブで自宅周辺まで出かけたり、行きつけの理美容院や買い物店との交流、墓参なども支援している。家族の協力を得て外出や外食などに支援している。 | |
| 21 | | ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている | 利用者様同士で好きなテレビ番組を観たり一緒に歌を唄う等楽しく過ごされている。また、それぞれ個性や性格も違うので、気の合う人同士で気分良く過ごせるようにテーブル席など配慮している。 | | |
| 22 | | ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている | 長期入院などにて契約終了するケースもあったが、利用者様の面会を行ったり医療機関へ情報提供を行うなどしている。また、ご家族が遠方ですぐに対応できない場合は、当事業所で対応したケースもあった。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------------------------------------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント | | | | | |
| 23 | 9 | ○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。 | 自分の希望を伝えられる方には、意見を取り入れ介護計画書に取り入れている。意思疎通の困難な利用者様もおり、日頃の表情や行動などに注目し、またご家族より情報を得るなど、本人の意向に沿えるように検討している。 | 家族や馴染みの友人・知人から情報を得たり、日常生活の支援の中で、利用者ひとり一人の意向を確かめたり、夜間、眠れないときなどに聞き入れる時間をとったり、ミーティングで聞き取りした部分を話し合い共有している。把握が困難な場合は、利用者の視点に立って職員間で情報交換に努め、本人本位に支援している。 | |
| 24 | | ○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている | ご家族や利用者様より、今までの生活背景などを把握するようにしている。また、面会に来られた方や、地元に出かけた際に情報を得る機会もある。 | | |
| 25 | | ○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている | 食事や起床時間など、利用者様の生活リズムに合わせて対応している。日課もあるが、その日の体調や状況に応じて実施している。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 26 | 10 | <p>○チームでつくる介護計画とモニタリング</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p> | <p>本人や御家族の意向を確認し、本人の望む暮らしを支援できるように、ケア内容等職員全員で検討している。介護計画書などは、個人記録に綴じ、ケア内容を随時確認意識できるようにしている。</p> | <p>本人や家族の意向を確認し、主治医の意見も取り入れ、家族も参加した担当者会議で話し合い介護計画を作成している。3ヶ月毎にモニタリングを実施し見直している。状況が変化した時は現状に即した介護計画を作成している。</p> | |
| 27 | | <p>○個別の記録と実践への反映</p> <p>日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p> | <p>個人記録へは、本人の様子や状況や反応などサービス内容に沿って記入している。また、記録内容は職員間で共有できるようにし、介護計画書の見直しやモニタリングに活かせるようにしている。</p> | | |
| 28 | | <p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化</p> <p>本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p> | <p>利用者様の健康管理を維持できるように、ホーム看護師で受診の介助や急な体調変化時の受診など対応できるようにしている。利用者様の心身の状態によっては訪問診療を医療機関の協力の下受けている。</p> | | |
| 29 | | <p>○地域資源との協働</p> <p>一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p> | <p>運営推進会議のメンバーに、地域の民生委員、町内会長、消防団長などに参加して頂き、利用者様の状況なども把握して頂いている。また、地域行事の参加や防火訓練等にも協力頂くなど、日頃より連携を図っている。</p> | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 30 | 11 | <p>○かかりつけ医の受診支援</p> <p>受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p> | <p>本人や家族の希望されるかかりつけ医を受診している。ホーム看護師で受診介助を行い主治医へ情報提供などを行い、受診の状況や結果なども、随時ご家族へ報告を行っている。</p> | <p>本人や家族の希望するかかりつけ医の受診を支援している。通院は事業所の看護師が対応しているが、必要に応じて家族の協力も得ている。結果はそのつど家族に報告している。緊急時の対応などに連携を取りながら適切な医療が受けられるよう支援している。</p> | |
| 31 | | <p>○看護職員との協働</p> <p>介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している</p> | <p>看護師を配置し、医療連携体制加算の体制があり、日常の体調管理や体調に変化がある場合、24時間体制で介護職員から看護師へ連絡相談など速やかに対応できるようにしている。</p> | / | / |
| 32 | | <p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p> | <p>入院を要する際には、ホームでの生活状況などの情報提供を随時行っている。病状が安定しホームで対応が可能であれば、早期に退院ができるように医療機関などと連携を図っている。入院中も、定期的に面会を行う等、利用者様も安心できるように努めている。</p> | / | / |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|---|--|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 33 | 12 | <p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p> | <p>重度化や終末期における指針を作成し、入所時はホームの対応や方針を説明している。過去には看取りの経験もあり、夜勤者の精神的な不安など軽減を図るため、看取りケアや緊急時の対応、連絡手順等について学習会などを通して学ぶ機会を作っている。</p> | <p>契約時に重度化や終末期に伴う対応の指針を説明し同意書を貰っている。状況変化に伴い本人や家族の意向を確認し、主治医や関係者が連携して、家族と方向性を共有できるよう取り組んでいる。職員は関連の勉強会に参加している。看取りの事例がある。</p> | |
| 34 | | <p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p> | <p>緊急時や急変時のマニュアルを作成している。学習会でもテーマとして取り上げたり、消防署での「普通救命講習」など職員交代で参加できるように務めている。</p> | / | / |
| 35 | 13 | <p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p> | <p>年2回、消防署や地域に消防分団の方達の協力の下、避難訓練などを実施している。地域の住民の方などの協力を得られるように働きかけている。災害時の備蓄なども定期的に確認している。</p> | <p>年2回消防署や地域の消防分団の協力のもと、昼夜間想定避難訓練を実施している。スプリンクラーや緊急通報装置も設置され、近隣在住の事業所職員との協力体制もできている。緊急連絡網に地域の住民も登録するなど地域との協力体制もできている。救急隊への「情報提供カード」も特定場所に保管してある。災害用の食糧等の備蓄もある。町内の防災無線も設置され、台風シーズンになると行政から、緊急受け入れできるか問い合わせもある。</p> | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|----------------------------------|------|--|--|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援 | | | | | |
| 36 | 14 | ○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている | 排泄や入浴介助時などは特にプライバシーを損ねることが内容に注意している。また、学習会やミーティングなどでも、自分達のケアを振り返る機会を作り意識して取り組んでいる。 | 利用者の人格を尊重し、プライバシーを大切にしたケアに留意している。ミーティングや勉強会で学んでいる。声かけなど言葉にも注意している。 | |
| 37 | | ○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている | 入浴や食事などの時間など、個々の希望に添えるようにしている。日常において本人が自己決定できる場面を作っている。 | | |
| 38 | | ○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している | 1日の流れが決まっているが、その人の状況状態に応じて、職員の都合にならないように注意している。 | | |
| 39 | | ○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している | 起床時は、自分でその日に着用したい衣類を選択して頂いている。外出時などは、自分の身だしなみを気にされ出かける際に着替えられるなど、おしゃれを楽しまれている方もいる。ホームでの毛染めやカット等も、要望があれば対応を随時行っている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|--|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 40 | 15 | ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている | 利用者の方に合わせて食事を準備している。利用者の方が苦手なメニューの時は他のメニューへ変更して準備している。出来る利用者の方には盛り付けや下ごしらえ、下膳など協力を頂いている。 | 口腔・栄養委員会があり、勉強会を行いバランスのよい献立を作り、季節の食材を使って職員と一緒に盛り付けや下膳など個々の力量に応じて行なっている。行事に家族も参加し、一緒に食事会を行い、楽しみなものになるよう工夫している。 | |
| 41 | | ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている | 定期的に体重測定を行い体重管理も実施している。食事摂取量が少ない方には栄養補助食品を用いたり、水分摂取に関しても、必要量を摂取できるように好みのものを提供したり、ゼリーにて摂取できるように工夫を行っている。 | | |
| 42 | | ○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている | 食後は口腔ケアの声かけを行い、義歯の無い方も舌ブラシなどを使用し実施している。週に1回は口腔内の観察も行い清潔に保てるように努めている。 | | |
| 43 | 16 | ○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている | 利用者様の排泄パターンを把握した上で、時間誘導など行い、昼間はトイレでの排泄を基本としている。出来るだけ、オムツや尿取りパットの使用は避け、必要な方へは、本人に合った種類等を検討している。 | 一人ひとりの排泄記録や習慣を把握し、自尊心に配慮しながらトイレでの排泄を大切にしている。オムツやパット類も本人に合わせて検討している。乳製品で食生活を工夫し、自然排便と排泄の自立を支援している。日中はオムツや尿取パットの排除に工夫して職員全員で取り組んでいる。 | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 44 | | ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる | 毎日、排泄チェック表を確認して排便確認を行っている。便秘傾向にある方へは、起床時に牛乳を勧めたり、適度な運動を促したり、毎日の献立等を工夫している。 | | |
| 45 | 17 | ○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している | 入浴は毎日午後から実施している。入浴を楽しみにされている利用者様が多く、順番やお湯の温度等も可能な限り本人の希望に添えるように対応している。車椅子の利用者様も、安心して入浴できるようにリフトを設置し、ゆっくりと安全に実施できるようにしている。 | 体調や希望に添って毎日入浴できるように対応している。身体状況により安全に入浴を楽しめるようリフトを設置し支援するなど一人ひとりの気持ちや習慣に合わせた対応をしている。足浴や清拭も行っている。 | |
| 46 | | ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している | 夜間ゆっくりと睡眠をとって頂けるように、日中は家事への参加やレクリエーションなどの活動を取り入れ、生活リズムを整えて過ごせるように配慮している。また、本人の体調に合わせて休息をとられる利用者様においては、昼夜逆転にならないように注意している。 | | |
| 47 | | ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている | 薬の管理は職員で行い、服薬介助では、飲み忘れや飲み間違いなどを予防する為に、職員2人で確認後服用介助を行っている。また、薬剤の副作用や効果など、薬剤管理表を用いて介護職員が随時確認できるようにしている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 48 | | ○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている | 利用者様個人の好みや楽しみを考慮して、家事手伝いや歌踊り、戸外活動（散歩やドライブ）など一緒に実施している。特に、外出を楽しみにされている方も多く、遠足やお花見、みかん狩りなどの行事も計画実施している。 | | |
| 49 | 18 | ○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している。 | 車椅子の利用者様が殆どであるが、日常的に天気の良い時は、散歩や買い物等出かける機会を作っている。家族により外食やお花見、自宅へ出かけたりされる利用者様もいる。 | 日常的には一人ひとりの習慣や楽しみごとに合わせて、近隣の散歩や買い物に出かけている。理・美容院などにも出かけている。計画を立てて花見やバラ園に行ったり、家族の協力で自宅に帰ったり、墓参りやお菓子を買いに行ったり、外食にも出かけている。 | |
| 50 | | ○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している | 受診や買い物に同行した際に、支払いの機会を作るも、職員へ利用者様より依頼される方が殆どである。日常的に金銭を所持している方もいない状況である。 | | |
| 51 | | ○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している | 家族へ電話をかけたいと言われる方には代行して行うが、難聴で会話が聞き取れずやり取りが困難な時もある。職員で伝えたい内容を代わりに伝えるなど対応を行っている。 | | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|---|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 52 | 19 | <p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>整理整頓を心がけ清潔に努めている。快適に過ごせるように室温や湿度の管理も定期的に行なっている。ホール壁等は季節に応じた装飾を行い、それぞれがソファやテーブル席など落ち着ける場所でくつろいでいた</p> | <p>玄関やフロア・廊下は広く天井は高い。温度や湿度の管理がなされ、換気や採光に配慮し清潔である。季節感を大事にした飾りつけがある。掘り炬燵式の畳コーナーや畳の腰高の場所もあり腰かけられるようになっている。テレビの近くにソファが置かれゆっくりくつろげるスペースになっている。</p> | |
| 53 | | <p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p> | <p>車椅子の利用者が多いため、職員へ自分が過ごしたい場所を伝えソファや居室などで過ごされている。</p> | / | / |
| 54 | 20 | <p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p> | <p>入所時に、自宅で使用していた馴染みのものを持参していただいている。たんすや家族の写真、装飾品など飾られくつろげるようにしている。</p> | <p>居室はベッドとクローゼットが備え付けである。寝具や椅子・写真など使い慣れた物や家族の思いが伝わるものが持ち込まれ安心して過ごせるよう配慮されている。職員と一緒にレクリエーションで作った作品も飾られている。</p> | |

| 自己評価 | 外部評価 | 項目 | 自己評価 | 外部評価 | |
|------|------|--|---|------|-------------------|
| | | | 実施状況 | 実施状況 | 次のステップに向けて期待したい内容 |
| 55 | | <p>○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり</p> <p>建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している</p> | <p>トイレや浴室などには表示を行い場所を認識できるようにしている。トイレや浴室などは、利用者様が安全に使用することができる位置に手すりなど設置している。</p> | | |

V アウトカム項目

| | | | |
|----|---|---|---------------|
| 56 | 職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25) | ○ | 1 ほぼ全ての利用者の |
| | | | 2 利用者の2/3くらいの |
| | | | 3 利用者の1/3くらいの |
| | | | 4 ほとんど掴んでいない |
| 57 | 利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38) | ○ | 1 毎日ある |
| | | | 2 数日に1回程度ある |
| | | | 3 たまにある |
| | | | 4 ほとんどない |
| 58 | 利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38) | ○ | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 59 | 利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37) | | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | ○ | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |

| | | | |
|----|--|---|---------------|
| 60 | 利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49) | | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | ○ | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 61 | 利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31) | ○ | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 62 | 利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らせている。 (参考項目：28) | ○ | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 63 | 職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19) | | 1 ほぼ全ての家族と |
| | | ○ | 2 家族の2/3くらいと |
| | | | 3 家族の1/3くらいと |
| | | | 4 ほとんどできていない |

| | | | |
|----|--|---|---------------|
| 64 | 通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19) | | 1 ほぼ毎日のように |
| | | | 2 数日に1回程度ある |
| | | ○ | 3 たまに |
| | | | 4 ほとんどない |
| 65 | 運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4) | ○ | 1 大いに増えている |
| | | | 2 少しずつ増えている |
| | | | 3 あまり増えていない |
| | | | 4 全くいない |
| 66 | 職員は、生き生きと働いている。 (参考項目：11, 12) | ○ | 1 ほぼ全ての職員が |
| | | | 2 職員の2/3くらいが |
| | | | 3 職員の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 67 | 職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。 | ○ | 1 ほぼ全ての利用者が |
| | | | 2 利用者の2/3くらいが |
| | | | 3 利用者の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |
| 68 | 職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。 | ○ | 1 ほぼ全ての家族等が |
| | | | 2 家族等の2/3くらいが |
| | | | 3 家族等の1/3くらいが |
| | | | 4 ほとんどいない |